

2025 年度（令和 7 年度）
看護コンソーシアム 看護リスクリング講座

【履修証明プログラム】

募 集 要 項

シ ラ バ ス

札幌市立大学
教育支援プロジェクトセンター



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

目 次

I. 看護コンソーシアムの概要	2
看護コンソーシアムの沿革	2
II. 看護コンソーシアム 看護リスクリング講座の概要	3
1. 目的	3
2. 受講要件	3
3. 開催方法及び開催場所	3
4. 申し込み方法	3
5. 受講決定	3
6. 選考手数料・受講料について	3
7. オンライン参加にあたっての注意事項	4
8. 修了証の発行	4
III. 「看護リスクリング講座」研修一覧	5
IV. 「看護リスクリング講座」シラバス	7
V. 履修証明書の発行について	14
1. 概要	14
2. 履修証明書 交付要件	14
3. 履修証明書 申請方法	14
4. 連絡・郵送先	14
VI. 個人情報の取り扱いについて	15
札幌市立大学個人情報保護ポリシー	15
VII. 札幌市立大学キャンパス・ハラスメント防止宣言	16

I. 看護コンソーシアムの概要

看護コンソーシアムでは、2016 年度より「地域の看護師を地域で育てる」をコンセプトに、札幌市立大学と道内の医療機関が共同で看護師のキャリア支援の一環として、臨床看護師の学習ニーズにあった多様な継続教育の研修を提供してきました。これらの研修は、オンラインを活用することでコロナ禍においても中断することなく展開し続け、距離的な障壁をも乗り越え 2024 年度までに受講者は延べ 500 名を超えました。

各研修は看護コンソーシアムで毎年ブラッシュアップを繰り返し、中堅看護師や副師長を対象とした研修に加え、学習ニーズの見直しにより 2023 年度からは「災害看護」、2024 年度からは「看護倫理」に関連した研修を追加しました。さらに 2025 年には新たに 2 つの研修を加え、「看護コンソーシアム 看護リスクリング講座」として展開する運びとなりました。

北海道の広大な地域で日々活躍されている皆さまが互いを身近に感じられ、スキルアップ、キャリアアップに役立てていただけるようなプログラムを準備しております。どうぞ「看護コンソーシアム 看護リスクリング講座」をご活用ください。

教育支援プロジェクトセンター長
樋之津 淳子

看護コンソーシアムの沿革

2006 年	札幌市立大学開学
2008 年	札幌市内の 10 病院と連携協力の基盤づくり
2012・2014 年	文部科学省助成事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業[テーマ B]インターンシップ等の取組拡大(産業界ニーズ Good Practice)」の選定を受けた地域キャリア連携の活動テーマ「産学官連携による地域・社会の未来を拓く人材育成」において、大学と社会(病院)が連携・協働して看護の専門職業人の教育やキャリア支援を可能とする「看護コンソーシアムモデル構想」に基づいた、ワーキンググループの立ち上げ
2012 年	看護コンソーシアムに道内 10 施設が参加
2014 年	「平成 26 年コンソーシアムモデル構築に向けた討論会」の開催
2015 年	札幌市立大学教育支援プロジェクトセンターの一部門として看護コンソーシアム部門が付置
2016 年	中堅看護師研修 開始
2018 年	副師長研修ワーキンググループの立ち上げ・企画開始
2019 年	副師長研修「ステップアップ！プレマネージャーの実践リフレクション」開始
2023 年	災害看護研修「備える！災害対応の基本的知識と今からできること」開始 看護コンソーシアムに道内 22 施設が参加
2024 年	看護倫理研修「実践の問い直しから臨床倫理を考える」開始
2025 年	学校教育法「大学等の履修証明制度」に基づく履修証明プログラム開始 副師長研修「ロジカルシンキングでとらえる副師長の管理課題」開始 EBN 研修「ワン・ステップ!エビデンスを探して、読み解き、使ってみよう!」開始

Ⅱ. 看護コンソーシアム 看護リスクリング講座の概要

1. 目的

看護コンソーシアムは、本学の教育理念及び教育支援プロジェクトセンターの目的に則り、地域の医療施設等との協働により、看護専門職に係る人材育成に寄与することを目的としています。

本講座では、看護コンソーシアムのもと看護ケアの質の向上と地域の保健・医療の質向上に資する知識の修得と実践力向上の機会を提供するための教育課程として、各研修を開催します。

2. 受講要件

各研修の全日程を受講できる方で、以下のすべてに該当する方

- 1) 看護コンソーシアム参加病院所属の看護師
- 2) 看護専門職としてのキャリアアップや新たな知見の習得の機会を得たい看護師

＊受講者の勤務年数などは問わない。

＊研修参加に先立ち、医療機関単位での看護コンソーシアムへの参加が必須。

看護コンソーシアムへの参加については、P14「4. 連絡・郵送先」までお問い合わせください。

3. 開催方法及び開催場所

原則、オンライン研修(Zoom 会議システム)で実施しますが、一部の研修では対面とオンラインを併用したハイブリット形式を予定しています。P5「Ⅲ. 「看護リスクリング講座」研修一覧」をご確認ください。

基本的な操作方法是、各自でご確認ください。また、研修当日は 1 人 1 台使用できるパソコン等、個室をご用意ください。

対面時の開催場所:札幌市立大学 桑園キャンパス

4. 申し込み方法

- 1) 申込期間は研修ごとに異なります。P5「Ⅲ. 「看護リスクリング講座」研修一覧」をご確認ください。申込期間が未定のものは、別途看護コンソーシアム参加病院にお知らせします。
- 2) 別途看護コンソーシアム参加病院にお知らせする WEB フォームから所属の看護コンソーシアム担当者を通じてお申し込みください。

5. 受講決定

- 1) 所属の看護コンソーシアム担当者を通じて受講決定通知にて随時お知らせします。定員を上回る応募があった場合には、抽選により受講者を決定することがあります。
- 2) 事前準備・必要物品等がある場合及び対面時の場所については、各研修の受講決定通知でお知らせします。

6. 選考手数料・受講料について

2025 年度は、選考手数料・受講料を徴収しません。次年度以降は本履修証明プログラムの評価等を行い徴収することを検討しておりますので、予めご了承ください。

7. オンライン参加にあたっての注意事項

機材及び通信環境は各自でご用意ください。

1) パソコン等の機器について

- ・遠隔研修は、パソコン、タブレット、スマートフォンのどれでも受講可能です。
- ・インターネット通信やカメラ機能、マイク機能について事前に確認してください。

2) 受講時の推奨環境

- ・OS：Windows 10、Windows11、macOS10.15 以上 (Windows 10 はサポートが終了した後は推奨しません。)
- ・グループワーク等で発言することもありますので個室環境での参加をお願いします。

3) パソコンのセキュリティ対策

- ・受講にあたり、パソコンは、ウィルス対策ソフトを導入し、常に最新バージョンとしてください。

4) Zoom の環境

- ・Zoom のソフトウェアは最新のバージョンにアップデートしてください。

5) 通信環境に関して

- ・カメラを使用したテレビ会議機能や動画の配信などを行うことがあるため、通信容量の制限が無いプランや、大容量のプランを契約することを推奨します。

6) 著作権の保護

- ・研修の資料等には著作権があるため、無断でコピーする等の行為は違法ですので禁止します。
- ・許可のない画面のキャプチャーも行わないでください。

8. 修了証の発行

研修ごとのすべての日程に出席された方には、各研修の修了証を発行します。

Ⅲ.「看護リスクリング講座」研修一覧

研修カテゴリー	中堅看護師研修		開催方法	オンライン
研修名	新人看護師と共に“学び”“育つ”コミュニケーション			
申込期間	未定	開催日時	第1回：8月27日（水）13:30～16:30	
募集人数	30名程度		第2回：9月5日（金）13:30～16:30	
			第3回：2026年1月15日（木）13:30～16:30	
		総時間数※	12時間	

研修カテゴリー	中堅看護師研修		開催方法	オンライン
研修名	看護における健康行動理論			
申込期間	未定	開催日時	第1回：7月30日（水）14:00～16:00	
募集人数	1施設 2名まで		第2回：8月6日（水）14:00～16:00	
			第3回：11月20日（木）13:00～16:00	
			第4回：2026年1月29日（木）13:00～16:30	
		総時間数※	14時間	

研修カテゴリー	副師長研修		開催方法	オンライン
研修名	ステップアップ！プレマネージャーの実践リフレクション			
申込期間	4月21日 ～6月30日	開催日時	第1回：9月12日（金）10:00～12:00 13:00～16:00	
募集人数	25名		第2回：9月19日（金）13:00～16:00	
			第3回：2026年1月16日（金）13:00～16:00	
			第4回：2027年1月頃（参加は任意）	
		総時間数※	14.5時間	

研修カテゴリー	副師長研修		開催方法	オンライン
研修名	ロジカルシンキングでとらえる副師長の管理課題			
申込期間	未定	開催日時	第1回：7月2日（水）13:00～15:00	
募集人数	1施設 2名まで		第2回：8月7日（木）13:00～15:00	
			第3回：10月31日（金）13:00～16:00	
			第4回：未定（第3回から1年後）（参加は任意）	
		総時間数※	9時間	

研修カテゴリー	災害看護研修		開催方法	オンライン
研修名	備える！災害対応の基本的知識と今からできること			
申込期間	9月1日 ～9月30日	開催日時	第1回：11月下旬 13:00～15:00	
募集人数	24名		第2回：2026年1月下旬 13:00～15:00	
			※第2回は同じ内容を2回開催予定、どちらかに参加	
			※日程は5～6月頃に決定予定	
		総時間数※	5時間	

研修カテゴリー	看護倫理研修		開催方法	オンライン、一部 対面・オンライン 併用
研修名	実践の問い直しから臨床倫理を考える			
申込期間	5月1日 ～5月30日	開催日時	第1回：9月11日（木）9:00～12:20 13:20～16:30 第2回：9月18日（木）9:30～12:40 13:40～16:30 第3回：12月1日（月）13:30～16:30 第4回：2026年3月11日（水）13:30～16:30 ※第1回のみ対面（オンライン併用）、 第2～4回はオンライン	
募集人数	9～12名 （1施設 2名まで）		総時間数※	
			24.5時間	

研修カテゴリー	EBN 研修		開催方法	オンライン
研修名	ワン・ステップ！エビデンスを探して、読み解き、使ってみよう！			
申込期間	4月21日 ～5月12日	開催日時	第1回：6月12日（木）13:00～16:00 第2回：7月31日（木）13:00～16:00 第3回：9月4日（木）13:00～16:00 第4回：9月25日（木）14:00～16:00 第5回：2026年2月5日（木）14:00～16:00	
募集人数	25名 （1施設 2名まで）		総時間数※	
			17時間	

※総時間数は【実施時間 45 分、自己学習時間 15 分】を 1 時間として計算しています。

IV. 「看護リスクリング講座」 シラバス

研修カテゴリー	中堅看護師研修
研修名	新人看護師と共に“学び”“育つ”コミュニケーション
講師	山出誓子（札幌禎心会病院）
担当者	栗原知己・田仲里江・村松真澄（札幌市立大学）、藤井瑞恵（札幌保健医療大学）
開催日時	第1回：8月27日（水）13:30～16:30 第2回：9月5日（金）13:30～16:30 第3回：2026年1月15日（木）13:30～16:30
総時間数	12時間
研修概要	新人看護師とのコミュニケーションについて、講義とグループワークでのディスカッションを通しながら学びを深め、新人看護師教育における自己の課題を明確にする。
研修のねらい 及び目的	1) 新人看護師のコミュニケーションの特徴を理解する。 2) 他施設の看護師と時間・空間を共有して学ぶことで、新たな出会いから刺激を得る。 3) 臨床を離れて学習の機会を得ることにより、日頃の看護を見つめ直し、リフレッシュやリフレイミングの機会とする。
到達目標	1) 看護実践の中で経験した新人看護師とのコミュニケーションをグループワークで共有する。 2) 新人看護師とのコミュニケーションにおけるアクションプランを作成できる。 3) 新人看護師とのコミュニケーションにおけるアクションプランの実施評価をグループワークで共有し、自己の課題を明確にすることができる。
対象者	- 新人看護師教育に関わる、または興味を有する看護師 - 原則3回全ての研修に参加できる方
研修内容及び方法	<第1回> 講義：共に学び、育つ <第2・3回> グループワークによるアクションプランの作成、実施後の結果の共有

研修カテゴリー	中堅看護師研修
研修名	看護における健康行動理論
講師	松本千明（北海道立旭川高等看護学院）
担当者	田仲里江・樋口佳耶（札幌市立大学）、森川由紀（天使大学大学院）
開催日時	第1回：7月30日（水）14:00～16:00 第2回：8月6日（水）14:00～16:00 第3回：11月20日（木）13:00～16:00 第4回：2026年1月29日（木）13:00～16:30
総時間数	14時間
研修概要	健康行動理論を学び、患者支援を振り返り実践することで、他施設の看護師と交流しながら支援能力を向上させる。
研修のねらい及び目的	1) 患者支援の能力向上を目指し、根拠に基づいた患者支援を学ぶ。 2) 他施設の看護師と時間・空間を共有して学ぶことで、新たな出会いから刺激を得る。
到達目標	1) 健康行動理論を活用した患者支援について理解できる。 2) 健康行動理論の視点から日頃の患者支援を振り返ることができる。 3) 健康行動理論を活用した患者支援について自己のアクションプランを作成できる。 4) 健康行動理論を活用した患者支援について、学習した理論を活用した自己のアクションプランの実践・評価をグループワークで共有し患者支援について自己の課題を明確にすることができる。
対象者	- 患者支援をする機会がある方または患者支援に興味がある方 - 原則4回全ての研修に参加できる方
研修内容及び方法	参加型研修 健康行動理論に関する講義、個人レポートを振り返るディスカッション

研修カテゴリー	副師長研修
研修名	ステップアップ！プレマネージャーの実践リフレクション
講師	武富貴久子（札幌市立大学）
担当者	武富貴久子・高橋奈美・樋口佳耶（札幌市立大学） 相原陽子・大嶋守（砂川市立病院）・安西啓恵（手稲溪仁会病院）・ 小原愛（勤医協中央病院）・岡田由紀（NTT 東日本札幌病院）・ 佐藤亜紀（市立札幌病院）・山出誓子（札幌禎心会病院）・吉岡 尚美（愛心メモリアル病院）
開催日時	第1回：9月12日（金）10:00～12:00、13:00～16:00 第2回：9月19日（金）13:00～16:00 第3回：2026年1月16日（金）13:00～16:00 第4回：2027年1月頃（参加は任意）
総時間数	14.5時間
研修概要	経験学習理論に基づくリフレクションの基本を学び、自身の経験を省察することで役割上の課題について解決の糸口につながる方法を体験的に学ぶ。
研修のねらい及び目的	1) リフレクションのプロセスを理解し、役割における自身の課題を明確にする。 2) 他施設の看護師と時間・空間を共有して学ぶことで、新たな出会いから刺激を得る。
到達目標	1) リフレクション（省察）の基本を学び、リフレクションサイクル活用の準備ができる。 2) 自身の経験をリフレクションサイクルで振り返り、課題と学び（教訓）を抽出（整理）できる。 3) リフレクション実践プランを立案できる。 4) 各自実践プランを臨床で実践する。 5) グループで報告し、互いにリフレクション、フィードバックを行うことができる。 6) リフレクションの実践活用例を共有することができる。 （第4回）
対象者	- 副師長・主任と同等の任にある看護師 - 原則3回全ての研修に参加できる方（4回目の参加は任意）
研修内容及び方法	参加型研修 リフレクションに関する講義、経験を振り返るフリーディスカッション、リフレクションサイクルを用いたグループワーク

研修カテゴリー	副師長研修
研修名	ロジカルシンキングでとらえる副師長の管理課題
講 師	松野千代美（札幌市立大学）
担当者	松野千代美・鬼塚美玲・吉田実和 ※新ワーキングメンバーご依頼予定
開催日時	第1回：7月2日（水）13:00～15:00 第2回：8月7日（木）13:00～15:00 第3回：10月31日（金）13:00～16:00 第4回：詳細日程は未定（第3回から1年後）
総時間数	9時間
研修概要	看護管理者は、我が国における医療・看護・福祉を取り巻く様々な変化や未来に向けた予測を敏感に捉え、日常の看護を実践することが求められています。所属する施設において、看護副師長・主任職を担う管理者は、患者個別の看護を実践するスタッフと共により質の高い効率的な看護の提供を目指し、日々取り組まれていると思います。しかし、多くの問題にぶつかり、解決の手立てに苦悩することも多いのではないのでしょうか。そこで、副師長職の皆さまが、社会・看護の最新の動向をとらえ、所属する地域、組織において主体的に看護管理実践を展開できることを目的に、本研修を企画しました。特に、「論理的思考に基づく問題解決技法」を実践し、真の問題を明らかにして課題設定と効果的な解決策を見いだすことに主眼を置き、看護管理実践に取り組む一助になることを目指します。
研修のねらい及び目的	1) 社会・看護の最新の動向をとらえ、所属する地域、組織において主体的に看護管理実践を展開できる。 2) 他施設の看護師と時間・空間を共有して学ぶことで、新たな出会いから刺激を得る。
到達目標	1) 看護職者に期待される社会、地域のニーズを理解する。 2) 看護管理者に求められる管理実践を確認する。 3) 論理的思考に基づく問題解決により看護管理課題を明確化する。 4) 問題解決技法を用いた実践状況に関して共有する。
対象者	- 看護副師長相当の任にある看護職、ならびに副師長をめざしている看護職 - 原則3回全ての研修に参加できる方（4回目の参加は任意）
研修内容及び方法	参加型研修（講義、グループワーク、フリーディスカッション）事前学習課題あり

研修カテゴリー	災害看護研修
研修名	備える！災害対応の基本的知識と今からできること
講 師	熊谷英樹（仙台赤門短期大学）、金丸道太郎（手稲溪仁会病院）、三上育子（市立釧路総合病院）、源本尚美（市立札幌病院）、鬼塚美玲（札幌市立大学）
担当者	鬼塚美玲・栗原知己・牧野夏子・吉田実和（札幌市立大学） 熊谷英樹（仙台赤門短期大学）、金丸道太郎（手稲溪仁会病院）、三上育子（市立釧路総合病院）、源本尚美（市立札幌病院）
開催日時	第1回：11月下旬 13:00～15:00 第2回：2026年1月下旬 13:00～15:00 （第2回は同じ内容を2回開催予定、どちらかに参加） ※日程は5～6月頃に決定予定
総時間数	5時間
研修概要	災害対応の基本原則に関する講義、自施設・他施設における災害時の体制の現状や課題に関する演習を行い、自身で取り組める対応を具体的に考える場とする。
研修のねらい及び目的	1) 災害対応の基本原則を学び、災害対応への準備性を高める。 2) 他施設の看護師と時間・空間を共有して学ぶことで、新たな出会いから刺激を得る。
到達目標	1) 災害対応の基本原則について知ることができる。 2) 自施設における災害対応時の体制を認識できる。 3) 未来の災害を想定し、日ごろから自身に取り組める対応について述べるることができる。
対象者	- マネージャークラス【看護部管理者、師長・副師長等の病棟管理者】 - スタッフクラス【各部署の一般スタッフ】 ※各施設、マネージャークラスとスタッフクラスのペアでの参加とする
研修内容及び方法	<第1回> ・講義（災害対応の基本原則について） ・グループワーク（第2回に向けた顔合わせ） <第2回> ・グループワーク（自施設の災害時の体制に関する課題について） ・全体共有

研修カテゴリー	看護倫理研修
研修名	実践の問い直しから臨床倫理を考える
講 師	古都昌子（鳥取看護大学看護学部）他
担当者	西川めぐみ・高橋奈美・村松真澄（札幌市立大学）、藤井瑞恵（札幌保健医療大学）
開催日時	第1回：9月11日（木）9:00～12:20、13:20～16:30 第2回：9月18日（木）9:30～12:40、13:40～16:30 第3回：12月1日（月）13:30～16:30 第4回：2026年3月11日（水）13:30～16:30 ※第1回のみ対面（オンライン併用）、第2～4回はオンライン
総時間数	24.5時間
研修概要	臨床倫理に関する講義や事例分析、看護実践に活かすためのアクションプランを策定し、評価する。他施設の受講者との意見交換を通し、自己の看護実践を省察し、新たな視点を発見するとともに、倫理的感受性と看護実践力を高める。
研修のねらい 及び目的	1) 臨床倫理に関する理解を深めるために基本的知識を再確認する。 2) 対象をひとりのかけがえのない人としてとらえ、倫理的葛藤が生じる場面を想起し、看護実践が臨床倫理から離れていないかを問い直す。 3) 倫理的課題の分析を通して、自己の価値の枠組みを見直す。 4) 変化する医療環境や多様な価値観に対応する倫理的視野を拓ける。 5) 他施設の看護師と時間・空間を共有して学ぶことで、新たな出会いから刺激を得る。
到達目標	1) 倫理的意思決定に向けての分析方法および意思決定プロセスを理解することができる。 2) 対象をひとりの人として尊重し、対象に寄り添う看護実践の方向性を見出すことができる。 3) 看護実践に活かすためのアクションプランを策定し、倫理的感受性と看護実践力の向上の視点から評価できる。
対象者	● 臨床倫理について関心がある中堅看護師 ● 原則4回全ての研修に参加できる方
研修内容 及び方法	<第1回>講義：臨床倫理の基本と倫理的意思決定 グループワーク：受講者の臨床事例の共有・分析事例の決定 <第2回>講義：各臨床場面における倫理的葛藤 グループワーク：事例分析、アクションプランの策定 <第3・4回>アクションプランの評価・共有

研修カテゴリー	EBN 研修
研修名	ワン・ステップ！エビデンスを探して、読み解き、使ってみよう！
講師	武富貴久子・牧野夏子・西川めぐみ（札幌市立大学）
担当者	武富貴久子・牧野夏子・西川めぐみ（札幌市立大学）、森川由紀（天使大学大学院）
開催日時	第1回：6月12日（木）13:00～16:00 第2回：7月31日（木）13:00～16:00 第3回：9月4日（木）13:00～16:00 第4回：9月25日（木）14:00～16:00 第5回：2026年2月5日（木）14:00～16:00
総時間数	17 時間
研修概要	医療サービス利用者からの看護の質向上に対する期待が高まる中、看護コンソーシアムではエビデンスに基づく看護実践を展開するため、看護問題を特定し、エビデンス情報を探し、批判的に分析し、実践で活用することにつながる研修を企画しました。日々の臨床実践に疑問をお持ちの方、看護実践の根拠を考えてみたい方、文献を読みたいけれどハードルが高いと感じている方、コンソーシアムの仲間と共に学んでみませんか？
研修のねらい 及び目的	1) 臨床現場で気になる疑問に関するエビデンスを探し、読み解き、活用する方法を理解する。 2) 他施設の看護師と時間・空間を共有して学ぶことで、新たな出会いから刺激を得る。
到達目標	1) 臨床で気になる疑問を想起し共有する。（臨床疑問を見つけることができる） 2) 気になる疑問に関する文献を探す。（文献検索ができる） 3) 見つけた文献を批判的に読んでみる。（クリティックしながら論文が読める） 4) 見つけた文献に書かれた気になる疑問のヒントを見つけ整理する。（マトリックスを作成できる） 5) 持ち帰り、臨床で使った上での振り返りを共有する。（リサーチクエスチョンがイメージできる）
対象者	- データの活用、臨床上の疑問について考えてみたい看護師 - 原則5回全ての研修に参加できる方（職位は問わない）
研修内容 及び方法	参加型研修（講義、グループワーク、フリーディスカッション）事前学習課題あり

V. 履修証明書の発行について

1. 概要

看護コンソーシアムが実施する「看護リスクリング講座」は、学校教育法第 105 条の「特別の課程」として位置づけられており、下記の交付要件を満たす方に、履修証明書を発行しますので、ご希望の方は申請方法に沿って必要書類をご提出ください。

なお、履修証明書を受けられた方は、札幌市立大学看護学研究科博士前期課程出願資格認定審査用履歴書に研修履歴として記載できます。

2. 履修証明書 交付要件

「看護リスクリング講座」の複数の研修を受講し、最長 3 年間で合計時間数 60 時間以上を修了し、履修証明書の交付を希望される方。

＊履修証明書は、2025 年度以降に受講し、修了した研修に限ります。

3. 履修証明書 申請方法

申請を希望される方は、下記「4.連絡・郵送先」へ履修証明書の発行を希望する旨、ご連絡ください。『履修証明プログラム「看護リスクリング講座」履修証明書交付申請書』を送付します。

『履修証明プログラム「看護リスクリング講座」履修証明書交付申請書』に必要事項を記載し、以下の提出書類 2 点を下記提出先まで郵送にてご提出ください。

提出後 1 か月を目途に、履修証明書を交付いたします。

・提出書類：①履修証明プログラム「看護リスクリング講座」履修証明書交付申請書

②各研修の修了証の写し

・提出期間：研修時間が合計 60 時間以上に達した後、随時

＊ただし、2028 年 3 月末日までにご提出ください。

4. 連絡・郵送先

札幌市立大学教育支援プロジェクトセンター 看護コンソーシアム部門担当

〒060-0011 北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目

TEL : 011-726-2500

E-mail : k-consortium@scu.ac.jp

VI. 個人情報の取り扱いについて

- 個人情報は、「札幌市立大学個人情報保護ポリシー」に則り、適切に取り扱います。

札幌市立大学個人情報保護ポリシー

公立大学法人札幌市立大学（以下「本学」という。）は、個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号、以下「法」という。）に基づき、これを適切に取扱うとともに、個人情報の不正使用や漏えい等を防ぐため、安全管理体制を整備し、教職員の個人情報への意識の向上をはかるなど、個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報の取得について

本学は、個人情報を取得するときは、個人情報を利用する目的を明らかにし、当該目的を達成するために必要な範囲内で、本人から直接取得することを原則とします。

2. 個人情報の管理について

本学が取得した個人情報は、利用目的の達成に必要な範囲内において、正確かつ最新のものとし、漏えい、改ざん、滅失、き損等を防止し、不要になった情報は、確実かつ速やかに廃棄し、又は消去します。

又、個人情報は、適切な安全保護措置を講じた上で取扱い、個人情報ファイル簿一覧を作成することで、利用目的・記録項目等を適切に管理します。

3. 個人情報の利用について

本学が管理する個人情報は、利用の目的を明確にし、原則として、利用の目的の範囲を超えて内部で利用することはしません。利用の目的は、個人情報ファイル簿一覧で閲覧できるほか、窓口でも確認できます。

4. 個人情報の第三者への提供の制限について

本学が管理する個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで、外部の第三者に提供することはしません。ただし、法に基づき適正に提供を要求された場合は、本人の同意なしに情報を提供することがあります。

5. 外部への委託について

本学は、個人情報を取扱う事務を委託するときは、安全な情報管理を行うことのできる委託先を選定し、個人情報を保護するための契約を結び、必要な場合は委託作業の監督を行います。

6. 内部管理体制の継続的改善の実施

個人情報を取扱う本学の教職員等に対する教育・監査を行い、個人情報保護のための内部管理体制の維持に努め、継続的に改善を行います。

7. 開示請求等について

法に基づき、本学が保有する「自己に関する個人情報」については、開示請求をすることができ、開示を受けた「自己に関する個人情報」について事実と誤りがあるときは、その訂正の請求をすることができます。又、「自己に関する個人情報」の取扱いが、法に違反していると認めるときは、その取扱いについて、利用の停止若しくは消去又は提供の停止を請求することができます。

8. 個人情報の取り扱いについて

本学における個人情報の取扱いは、公立大学法人札幌市立大学個人情報保護事務取扱規程（平成18年規程第23号）により行います。

VII. 札幌市立大学キャンパス・ハラスメント防止宣言

札幌市立大学はいかなるキャンパス・ハラスメントも許しません

札幌市立大学は、人間の尊厳を著しく傷つける重大な人権侵害行為であるキャンパス・ハラスメントを許しません。

札幌市立大学は、キャンパス・ハラスメント防止委員会を設置し、キャンパス・ハラスメントの防止に最大限努めます。

札幌市立大学は、キャンパス・ハラスメントの被害者の救済と環境改善に努め、加害者には強く反省を求め、厳しい措置をもって対処します。

札幌市立大学は、キャンパス・ハラスメントの発生防止及び対策に責任を持って取り組み、キャンパス・ハラスメントのない快適な就業・修学キャンパスを維持することを目指します。

札幌市立大学の全ての教職員及び学生等は、キャンパス・ハラスメントの発生防止に努める義務を有します。

キャンパス・ハラスメントとは、本学の教員、職員及び学生等（以下「構成員」という。）が、その権威、権限又は権力を背景に、教育、研究、修学又は職務遂行で他の構成員に不利益又は損害を与えることをいい、アカデミック・ハラスメント（教員が、単位認定、指導等の教育上又は研究上の権威、権限又は権力を背景に、本学の教育、研究、修学又は職務遂行で他の構成員に不利益等を与えること）、セクシュアル・ハラスメント（言葉、視覚又は行動等により、教育、研究、修学又は職務遂行の関係を利用して、相手を不快にする性的な言動等を行うこと）、パワー・ハラスメント（構成員が、職務上の地位など人間関係等の優位性を背景に、指導又は業務上必要・相当な範囲を超え、他の構成員の教育、研究又は就業環境を害する不適切な言動等を行うこと）、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント（他の構成員の妊娠・出産・育児等やそれらの制度の利用に関する言動等により他の構成員の教育、研究又は就業環境を害すること）、そのほか、構成員相互の関係を利用して、相手に不利益を与えることをいう。

2025 年度 看護コンソーシアム 看護リスクリソグ講座（履修証明プログラム）
募集要項・シラバス

2025 年 4 月 発行

札幌市立大学教育支援プロジェクトセンター 看護コンソーシアム部門担当
〒060-0011 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
E-mail : k-consortium@scu.ac.jp
